交通渋滞を理由とする西成警察署交通課
の許可条件限定に対する意見書

釜ヶ崎日雇労働組合

執行委員

アイリンC地区内の交通状況

昭和五七年八月二十九日発行の道路使用許可

証に別添された大阪府西成警察署指令第一号

中、第三項後の但し書きに示す道路及びその

区域内道路の交通状況の事実を照らし、内部

の交通渋滞、周辺道路の渋滞一般をまねく

という西成署の断定は虚偽である。と反論します。

この区域を囲む主要道路の内、尼崎平野線へ太子交差点から新今宮駅西交差点まで✓及び~~新~~新紀州線~~津~~津守阿倍野杭全線は車輛交通の激しい道路であるが新紀州街頭道は広さの割に車輛交通の少ない道路であり南海本線沿い道路や南福天下菜屋線沿い道路に至っては駐車場といった方がよい位のものである。そして地区中心部を縦断する旧住吉街頭へ通称銀座

通りも車輛交通は困難で、その殆んどは地
区内商店の車で、他は地区内に所用ある車で
あり、これ及びその他地区内道路を交通途上
の道路として通過して行く車輛は殆んど皆無
と言いましよ。従つて、地区北辺の尾崎平野線の
南辺の杭全阿倍野津守線の一部が渋滞すれば
その道路に渋滞が拡大すると考へられるか、
それは地区中心部、労働者過密区域からは
なれており、これらの事実から、労働者の謂

集によつて周辺道路の麻に起るといふのは
強弁にすぎると言う事です。又地区内商店
等の車輛にこそ、自店前か、~~■~~前述南海本
線沿い道路や、地区内のカンソな道路に駐車
こそおまのぞあり、西成署はこの実体を知つ
ていふからマに状態が起ると吹聴する意図は
、単に労働者の^口謂集^口を惧れ^口といふといふ
コトに他なりません。

三、^口い集^口 集団不法事案^口 一般論について
周知の如く、当釜ヶ崎地区は日雇労働者の

街であり、~~〇六二~~平方キロの区域に商店人家族
 を含め常時四万名~~〇六二~~人口が住んでい
 るので夕方~~〇六二~~もなれば、地区内道路の半分位
 が歩行者天国の状態になるのは、盛り場の存
 在と表りありません。

ここから、この事が街頭宣伝車で広報活動を
 すると、~~〇六二~~無秩序な~~〇六二~~労働者の~~〇六二~~い集・追隨

により、~~〇六二~~大規模な集団不法事案に発展する

〇という~~〇六二~~恐るべき~~〇六二~~飛躍の根拠になる~~〇六二~~旨はあり

ません。労働者は何の自主性も判断もない。

という。差別観^コ念^コには認めない論理的飛躍^コであります。毎年^コ毎年^コの夏祭りやメーデー、また越冬医療パトロールや、セクターでの暴力平配師追及、数之^コ切られ^コない程の大衆的な活動や行動が^コ貫徹^コされ、集団不法事態神話^コはくがれ去^コつてい^コるのみです。

警察側が言う^コ某団不法事態^コは、いつか決^コつて、警察の不当週判介入によ^コつて起^コつたもの^コであります。最近^コでい^コえば五月ニ七月夕方、警察は「一寸止^コつて街宣^コした^コ」とい^コつて

車をとり囲んで動けないよおにじ、マイクを
引きおぎり、警察側が車を動けなくしてそれ
に対する抗議を条件違反と~~認~~労働者を何人
も検挙して行ったのであり、これに対する労
働者全体の自発的な抗議を~~可~~集団不法事態~~と~~
と称しているのがあります。私達はこのよお
互差別的治安管理とその思想を決して許すこ
とはできません。

一、二、の見地から、今回西成署長名の指
令第一号の条件はへ労働者の帰宅時間が六時

から七時半頃に至る事案からして正当な労働運
動の否定~~は~~憲法に規定される労働基本権の侵
害及び思想・表現の自由の侵害そのものと
考えます。